

盛夏の候、地域・保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

6月29日～7月1日まで実施いたしましたオープンスクールには、お忙しい中、多数来校いただきありがとうございます。先日、オープンスクールアンケートを保護者の皆様に配布いたしました。お手数をおかけしますが、お子様の様子、感想などを記入の上、提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 生活アンケート・教育相談期間の設定

学校だより、学年だより等で「生活アンケート」「教育相談期間」については、ご承知だと思います。その意図や結果についてお知らせしたいと思い、「特集号」を発行させていただくこととしました。

生活アンケートは昨年度も実施しておりましたが、今年度はアンケート項目を増やすとともに質問内容の見直しを行いました。また、新たに「教育相談期間の設定」を行いました。会議などの行事予定を調整し、児童と向き合う時間を確保するとともに、生活習慣の改善、心配ごと等の解決に少しでも役立てたいという願いからの見直しです。結果とともに簡単な考察を載せています。家でのご過ごし方、学校生活での様子について、ご家庭で振り返ったり、話し合ったりする機会になれば幸いです。

### 【生活習慣】

(調査人数 424人 (在籍427人))



朝ご飯は食べていますか	1・2年	3～6年
毎日食べている	87.2%	82.4%
ときどき食べない	9.2%	14.0%
ほとんど食べない	3.5%	3.6%

96%以上が「毎日食べている」「ほとんど食べている」と言えます。本校で14名程度の児童が「ほとんど食べない」で登校していることになります。仕事で早く出る場合でもパンや牛乳・サラダ・チーズ等、自分で食べられるものが用意されると少し違って来るかもしれません。食べることで身体が目覚めます。登校への意欲や頑張るエネルギーにつながるかもしれません。

### 何時に起きますか (3～6年)

6時30分より前	31.1%
6時30分～7時30分	65.9%
7時30分以後	3.0%



### 何時に寝ますか (3～6年)

9時～10時	56.8%
10時～11時	34.5%
11時以後	8.7%

3・4・5年は、学年が上がるにつれて、起きる時刻が早くなり、7時30分以後に起きる数が少なくなります。6年生については、7時30分以後に起きる数は0となりますが、6時30分から7時30分に起きる児童の数は、3～6年のうちで一番多くなります。寝る時刻は、学年が上がるにつれて遅くなります。6年では16%が11時以後と答えています。

## テレビやゲームをあわせて1日平均何時間ですか

(3～6年)

1時間以下	38.2%
1時間～2時間以下	44.0%
2時間～3時間以下	17.9%
3時間～4時間以下	15.5%
4時間以上	17.4%

学年が上がるほど、テレビやゲームの時間が増えています。1時間以下については、3年生が38%なのに比べて、6年生は27%になっています。4時間以上が17.4%となっていますが、これは、28年度の全国学力学習状況調査(質問紙-テレビ・ビデオ・dvd等)の全国値よりも多い結果になっています。家庭での時間の使い方、家庭学習において、計画を立てて、自主的に取り組む習慣づくりが本校の児童にとっては重要な課題だということがわかります。



### 【学校生活】

#### 朝学校に行く時、嫌だなと思ったことがありますか

	1・2年	3～6年
よくある	14.8%	11.1%
ときどきある	28.2%	41.6%
ない	57.0%	47.3%

約半数が朝、「学校に行く時、嫌だなと思った」ことがあると答えています。

「よくある」と答えた子が1～2年生で19人程、3～6年生で30人程いることが課題です。

嫌だなと思った理由については、低学年では「友達から嫌なことをされた・言われた」「友達とのけんか」が多く、次に「友達が嫌なことをされるのを見た」「先生に叱られた」という理由があがってきます。中高学年では「友達から嫌なことをされた・言われた」「嫌な学習がある」が多く、次に「友達とのけんか」そして「テストがある」「勉強がわからない」の理由があがってきます。

#### 友達と仲良くできていますか

	1・2年	3～6年
できている	70.1%	67.9%
だいたいできている	25.7%	30.7%
できていない	4.2%	1.4%

「できている」「だいたいできている」を合わせると95%以上の児童が、友達と仲良くできていると言えます。友達は学校生活において、楽しさ・悩み・心配の両面において、大きな要因であると言えます。

低、中・高学年とも、「学校で楽しいと思う時」として、「友達と遊んでいる時」「休み時間・昼休み」を多くの児童があげています。割合にすると低学年で3割強、中・高学年で3割弱となります。友達と仲良く遊べる、仲良く話ができるという子どもにとって、当たり前だと思えそうな事柄が実は子どもたちにとってとても重要なことと言えます。

約半数の児童が、困っていることや悩みを抱えていることがわかりました。「友達のこと」「勉強のこと」「家族のこと」「体のこと」・・・様々です。多くの子どもたちが一番相談するのは、「母親」だと答えています。話をじっくり聴き、十分に話させ、受け止めることで、ストレスや辛さ等、“心のガス”を抜くことができると以前研修で学んだことがあります。忙しい時には、「これが終わったら必ず聴くから待っていてね」と優しく声をかけてもらえると有り難いです。

## 【学習について】

### 授業の時間は楽しいですか（3～6年）

楽しい	41.9%
教科による	53.4%
楽しくない	4.7%

学校で過ごす中で一番多くの時間が、「授業」です。「分かる授業」をめざして、教職員は、教材研究をしたり、ワークシートや資料を作ったり、黒板への書き方、発問の仕方等を考えたりと準備に多くの時間を使います。子どもが授業で「分かった！」と言ってくれた時の喜びは大きいものがあります。

「教師は授業で勝負する」という言葉を先輩から何度も聞いたことがあります。子どもと共に学ぶプロとしての心構えであり、厳しさを表現した言葉だと思えます。放課後学習、レッツスタデー、夏休みのサマースクール等も実施しながら、授業が楽しいと感じられるよう努力や工夫を重ねていきます。



### ひとりひとりを大切にするために

いじめ防止対策推進法を踏まえ、「兵庫県いじめ防止基本方針」が平成29年3月に改定されました。ここには、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の基本的な方針等が示されています。本校では、ひとりひとりを大切にするために、①組織的な対応、②いじめが起きにくい・いじめを許さない環境づくりに取り組んでいるところです。一例として、朝会での講話等による「いじめを許さない意識の高揚」、全学級でのよりよい人間関係づくりをめざすための授業（いじめ未然防止プログラム、いじめを許さない人権教育教材）、早期発見、早期対応のための「いじめ対応マニュアル」による教職員研修を行っているところです。

早期発見、早期対応のためには、保護者の皆様からの情報（お知らせ）も重要な部分であると認識しております。

『学校生活を楽しみ、自分らしさが発揮できる学校』『子どもの笑顔が弾ける、チャレンジできる学校』は、保護者の皆様、教職員にとって共通の思いです。

ご心配をおかけすることがありましたら、是非とも学校・担任にご相談頂きますようお願いいたします。地域・保護者の皆様と学校が力を合わせながら、よりよい方向へ進むことができればと考えております。何とぞよろしくお願いいたします。